



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 三共興株式会社

コード番号 8018

URL <http://www.sankyoseiko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川崎 賢 祥

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 下川 浩 一 (TEL) (06) 6268-5188

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	11,862	△8.1	821	△6.9	1,051	△7.9	793	△10.4
2019年3月期第2四半期	12,912	△2.2	881	47.2	1,141	42.1	885	51.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 321百万円(△80.6%) 2019年3月期第2四半期 1,654百万円(△21.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	18.10	—
2019年3月期第2四半期	19.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	50,348	35,146	69.0
2019年3月期	48,976	36,000	72.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 34,763百万円 2019年3月期 35,624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	20.00	20.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 記念配当5円00銭

2020年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 記念配当5円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△8.6	1,600	△15.6	2,000	△17.2	3,700	119.8	84.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	60,000,000株	2019年3月期	60,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	16,294,798株	2019年3月期	15,737,398株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	43,864,459株	2019年3月期2Q	44,834,031株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな景気回復基調が続く中、高額商材を中心としたインバウンド需要は増加傾向にあり、個人消費や消費マインドも緩やかに改善しているものの、米中貿易摩擦やEU離脱問題の影響など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましては、消費者の衣料品に関する購買行動の多様化と依然として根強い節約志向により、総じて厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、主力ブランドである「DAKS」のブランド価値を極大化すべく様々な戦略を実施し、収益拡大を図っております。しかしながら、当第2四半期連結累計期間は、国内外とも市場環境は一層厳しさが増す中、将来の企業成長への積極的な布石を打ちながらも利益追求に努めておりますが、前年同期比では減収減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同期比8.1%減の11,862百万円、営業利益は前年同期比6.9%減の821百万円、経常利益は前年同期比7.9%減の1,051百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比10.4%減の793百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ファッション関連事業

国内事業は、「DAKS」「LEONARD」のブランド価値向上のため、顧客ファースト、商品クオリティの追求を最優先し、経営効率を重視する事業構造改革をすすめてまいりました。当第2四半期連結累計期間におきましては、同ブランドを百貨店等に販売する国内子会社では、更なる営業在庫の圧縮をすすめており、百貨店の店頭不振の影響、不採算店からの撤退等により減収となりましたが、人件費や物流費用などの経費の削減に努めた結果、増益となりました。一方、ライセンス事業におきまして、サブライセンシーからの受取ロイヤリティの契約変更により収益の計上時期が変更となったため、前期比較では減収減益となり、結果として国内事業としましては、減収減益となりました。

海外事業は、中国市場におきましては、上海の旗艦店をリニューアルオープン、中国に新規出店を図るなど、積極的なショップ展開をすすめてまいりましたが、香港、マカオ、台北の小売事業におきましては、香港のデモの長期化など政治的な背景にも影響を受け、店舗ごとの収益性の見直しやブランドの付加価値の向上には努めましたが、減収減益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比8.3%減の5,594百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比18.5%減の474百万円となりました。

② 繊維関連事業

アパレル企業向けのOEM事業は、厳しい市況が続く中、新規取引先の開拓、既存取引先との取組を強化し、付加価値の高い商品開発に注力、また、生産面におきましては更なる品質向上を目指し、商品の安定供給に努めております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、主力取引先となる百貨店アパレルが、ブランド戦略の見直しや生産数量の抑制を図るなどの構造改革をすすめていることが大きく影響し受注減となりました。既存取引先への企画力強化や新規取引先との取組拡大などの販売面の強化、物流面の効率化などの収益性の向上に努めておりますが減収減益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比10.4%減の5,502百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比15.3%減の190百万円となりました。

③ 不動産関連事業

大阪の賃貸ビルをメインとして東京・横浜・神戸などの不動産に係る賃貸事業は、大阪サンライズビルの稼働率の向上、内装工事業等の増加があり、当事業全体の売上高は前年同期比10.4%増の1,237百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比8.9%増の351百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて507百万円(2.8%)減少し、17,929百万円となりました。これは、現金及び預金が691百万円減少、受取手形及び売掛金が66百万円減少した一方で、商品及び製品が292百万円増加したことなどによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,879百万円(6.2%)増加し、32,419百万円となりました。これは、IFRS適用在外連結子会社においてIFRS第16号「リース」を適用したことにより使用権資産が2,396百万円増加した一方で、商標権が356百万円減少したことなどによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて325百万円(4.3%)増加し、7,843百万円となりました。これは、IFRS適用在外連結子会社においてIFRS第16号「リース」を適用したことなどによりリース債務が344百万円増加、支払手形及び買掛金111百万円増加した一方で、未払費用が266百万円減少したことなどによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,900百万円(34.8%)増加し、7,358百万円となりました。これは、IFRS適用在外連結子会社においてIFRS第16号「リース」を適用したことなどによりリース債務が1,947百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて853百万円(2.4%)減少し、35,146百万円となりました。これは、純資産から控除している為替換算調整勘定が501百万円増加、同じく純資産から控除している自己株式が285百万円増加したことなどによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて691百万円減少（前第2四半期連結累計期間は3,038百万円の減少）し、当第2四半期連結会計期間末には、9,632百万円（前第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は7,848百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上額が1,051百万円、減価償却費の計上額が544百万円、仕入債務の増加額が121百万円となった一方で、たな卸資産の増加額が303百万円、法人税等の支払額が281百万円あったことなどにより、812百万円の収入（前第2四半期連結累計期間は320百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が117百万円となった一方で、有形固定資産の売却による収入が175百万円あったことなどにより、37百万円の収入（前第2四半期連結累計期間は604百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額が883百万円、自己株式の取得による支出が285百万円、リース債務の返済による支出が275百万円あったことなどにより、1,449百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は2,803百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月15日の決算発表時に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,323	9,632
受取手形及び売掛金	4,861	4,795
商品及び製品	3,015	3,308
仕掛品	6	5
原材料及び貯蔵品	5	4
その他	379	336
貸倒引当金	△156	△153
流動資産合計	18,436	17,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,457	7,313
使用権資産（純額）	—	2,396
土地	3,149	3,149
その他（純額）	534	514
有形固定資産合計	11,141	13,373
無形固定資産		
商標権	4,208	3,851
その他	233	214
無形固定資産合計	4,441	4,066
投資その他の資産		
投資有価証券	14,355	14,387
退職給付に係る資産	8	8
その他	607	598
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	14,956	14,979
固定資産合計	30,539	32,419
資産合計	48,976	50,348

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,932	3,043
短期借入金	2,820	2,820
リース債務	31	376
未払費用	990	723
未払法人税等	211	169
その他	532	711
流動負債合計	7,518	7,843
固定負債		
リース債務	82	2,030
繰延税金負債	3,982	3,955
退職給付に係る負債	513	502
その他	878	869
固定負債合計	5,457	7,358
負債合計	12,975	15,202
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,168	6,168
利益剰余金	27,239	27,147
自己株式	△5,698	△5,984
株主資本合計	30,709	30,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,008	7,028
繰延ヘッジ損益	0	△1
為替換算調整勘定	△2,107	△2,608
退職給付に係る調整累計額	13	13
その他の包括利益累計額合計	4,914	4,431
非支配株主持分	376	383
純資産合計	36,000	35,146
負債純資産合計	48,976	50,348

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	12,912	11,862
売上原価	8,028	7,244
売上総利益	4,883	4,618
販売費及び一般管理費	4,001	3,796
営業利益	881	821
営業外収益		
受取利息	3	6
受取配当金	269	254
為替差益	2	0
その他	20	20
営業外収益合計	295	281
営業外費用		
支払利息	10	34
店舗等除却損	16	6
その他	7	9
営業外費用合計	35	51
経常利益	1,141	1,051
特別損失		
減損損失	12	—
特別損失合計	12	—
税金等調整前四半期純利益	1,129	1,051
法人税、住民税及び事業税	282	259
法人税等調整額	△46	△12
法人税等合計	235	247
四半期純利益	893	804
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	885	793

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	893	804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	654	19
繰延ヘッジ損益	41	△2
為替換算調整勘定	64	△501
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	760	△483
四半期包括利益	1,654	321
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,646	310
非支配株主に係る四半期包括利益	7	10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,129	1,051
減価償却費	298	544
減損損失	12	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△3
受取利息及び受取配当金	△272	△260
支払利息	10	34
売上債権の増減額(△は増加)	△354	31
たな卸資産の増減額(△は増加)	△191	△303
仕入債務の増減額(△は減少)	297	121
役員賞与の支払額	△70	△75
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△18	△8
未払消費税等の増減額(△は減少)	△106	45
その他	△130	△310
小計	602	868
利息及び配当金の受取額	272	260
利息の支払額	△10	△35
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△543	△281
営業活動によるキャッシュ・フロー	320	812
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△211	—
有形固定資産の取得による支出	△290	△117
有形固定資産の売却による収入	—	175
投資有価証券の取得による支出	△102	△2
その他	0	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△604	37
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,480	—
長期借入金の返済による支出	△160	—
自己株式の取得による支出	△463	△285
配当金の支払額	△676	△883
非支配株主への配当金の支払額	△3	△3
リース債務の返済による支出	△19	△275
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,803	△1,449
現金及び現金同等物に係る換算差額	48	△91
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,038	△691
現金及び現金同等物の期首残高	10,886	10,323
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,848	9,632

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表において、有形固定資産の使用権資産が2,396百万円増加、流動負債のリース債務が345百万円増加、固定負債のリース債務が1,962百万円増加しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	6,082	5,837	992	12,912	—	12,912
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17	302	129	449	△449	—
計	6,100	6,140	1,121	13,361	△449	12,912
セグメント利益	581	225	322	1,129	△247	881

(注) 1. セグメント利益の調整額△247百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△199百万円及びセグメント間取引消去等△48百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業		
減損損失	12	—	—	—	12

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,583	5,169	1,109	11,862	—	11,862
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	333	127	471	△471	—
計	5,594	5,502	1,237	12,334	△471	11,862
セグメント利益	474	190	351	1,016	△195	821

(注) 1. セグメント利益の調整額△195百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△195百万円及びセグメント間取引消去等0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(固定資産の譲渡)

当社は、2019年9月17日開催の取締役会において、固定資産の譲渡について決議し、2019年10月31日に譲渡いたしました。

1. 譲渡の理由

資産の効率的運用の観点から保有資産の見直しを進めるなかで、譲渡することといたしました。

2. 譲渡資産の内容

所在地	神戸市中央区江戸町101番地
資産の内容	土地 (1,829.87㎡) 建物 (11,667.73㎡)
現況	賃貸用不動産
譲渡益	約31億円

3. 譲渡先の概要

譲渡先につきましては、譲渡先の意向により開示を控えさせていただきます。

なお、譲渡先と当社との間には、資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者として特記すべき事項はありません。

4. 譲渡の日程

取締役会決議日	2019年9月17日
契約締結日	2019年9月26日
物件引渡日	2019年10月31日

5. 損益に与える影響

当該固定資産の譲渡により、2020年3月期第3四半期連結会計期間におきまして、固定資産売却益約31億円を特別利益として計上する予定であります。